

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	平成市民の森整備事業			事業コード	0665
担当課等	所属名	農林部 林政課	担当係名		
	課長名	農林部 林政課	担当者名	荒谷 航平	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 06款02項02目 平成市民の森整備事業 (016-02)	
	特記事項					
事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度					
事務事業の概要	城下もりおか400周年記念事業として取得した平成市民の森を未来の盛岡市民に送る記念の森として整備し造成するもの					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
城下もりおか400周年記念事業の一環として取得した平成市民の森の整備を行い、未来の盛岡市民に送る記念の森を造成することとなった。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
東屋などの雨天利用施設やベンチ等の設置要望がある。山菜、キノコとりができ、保健休養林としても評価が高い。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
平成市民の森をグリーンツーリズムで活用する働きがあり、今後、都市住民の自然のふれあいの場としてさらに機能していくと考えられる。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	平成市民の森整備	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 整備計画面積	単位	ha
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 平成市民の森の造成、整備 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 整備面積	単位	ha
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	快適な市民生活に欠くことのできない森林資源を健全な状態で後世に引き継ぐ事を目的とし、現在の市民とともに平成市民の森の造成を行う。 100年後の市民に平成市民の森を贈り、森林の重要性について理解を深めてもらい、林業関係者の意欲増進と一般の市民の方の林業に対する理解を深めてもらう。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 整備実施率 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位:人) 農業純生産額(単位:百万円) 林業純生産額(単位:百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	整備計画面積	ha	9.45	9.45	9.45	9.45	9.45	9.45	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	整備面積	ha	9.45	9.45	9.45	9.45	9.45	9.45	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	整備実施率	%	100	100	100	100	100	100	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,971	1,616	1,146	1,146	1,101	1,101	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円	723	435	0	0	0	0	*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,248	1,181	1,146	1,146	1,101	1,101	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,971	1,616	1,146	1,146	1,101	1,101	*****
	延べ業務時間数	時間	350	350	350	350	350	350	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,371	3,016	2,546	2,546	2,501	2,501	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:平成市民の森の利用を促進することにより、森林・林業に対する理解が高まり、林業者の生産意欲の向上と生産活動の活性化つながる。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 城下もりおか400周年記念事業の一環で100年後の市民に広葉樹の森を贈るというコンセプトであり、市の企画で実施してきたものであるため、引き続き市が継続して行うべき事業である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由:平成市民の森全体を保育・整備しているため、整備面積の拡大や縮小はできない。
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由:森林全体を健全な状態で後世に引き継ぐことを目的としているため。
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:平成市民の森全体への植栽が完了し、過去に植栽した樹木も生長してきていることから、市民に対してイベント等を開催し広く周知することで、市内の林業関係者はもちろんのこと、他市町村の林業関係者にも興味を持っていただく。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:100年後の市民に贈る大径樹が育たないばかりでなく、森林が荒廃し土砂災害などが懸念され、市民のいこいの場としての機能が失われる。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名:外山森林公園管理事業、都南つどいの森管理事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由:整備目的が違うため
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:現在でも縮小した予算の範囲内で整備しており、これ以上の削減は整備が行き届かないこととなる可能性がある。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:担当者は1名でそれも兼務した中で事業を担当している。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:平成市民の森は通年で市民開放しており、いつでも誰でも訪れることができる。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:平成市民の森は無料で開放している。

#### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)          ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること          市民を対象としたイベントの開催や広報媒体を利用した宣伝、また、ベンチや雨天時等に利用できる東屋等の新たな施設整備により、利用の促進を図る必要がある。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？          (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)          イベントの開催や施設整備には新たなコストや人件費がかかることになる。</p>
---------	---

#### 5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり          :          ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり          :          ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり          :          ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり          :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>市民参加で平成市民の森を作り上げてきたが、多くの市民が来場するには、施設的に不十分な状態となっている。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携             </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
	<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>城下もりおか400年記念事業として100年後の市民に贈る森として整備したものであることから、今後、それにふさわしい整備の機会をうかがっていくものとする。</p>						